

厚岸町海事記念館



通信

2006.10.

No. 3

海の作品展を開催 !!

今年も「海の作品展」の季節がやってきました。子供たちが夏休みに一生懸命作った力作が勢ぞろい！ 毎年、主に町内の小学生から多くの作品を出品していただいています。今年の出展作品の総数は143点にもなりました。

なかには、本物の昆布を積んだ昆布漁の船の模型（漁師さんの人形付きです）やアサリの貝殻をウロコに見立てた魚の壁掛け、ダンボールを張り合わせて立体的に作ったオニオコゼの模型など、どれをとっても子供たちの力作ぞろいで、子供たちの発想の豊かさに目を見張るものがありました。

来年も引き続き「海の作品展」を開催していく予定ですので、次回の作品展へのみなさまからの意欲作の出品をお待ちしています。



（本物の昆布が積まれています。船上の漁師さんも雰囲気が出てますね）

（魚のウロコ一つ一つがアサリの貝殻で表現されています）

【お知らせ】 文化の日に海事記念館などを無料開放しま～す !!

11月3日(金)「文化の日」は、海事記念館、郷土館、太田屯田開拓記念館の3館を無料開放します。この機会に厚岸の歴史に触れてみませんか。

また、当日は海事記念館プラネタリウム室も投影いたしますので(投影時間11:00～、13:30～、15:30～)、こちらの方も無料ですのでぜひご覧ください。

問い合わせ先 : 海事記念館管理係 0153-52-4040

文化財係 アッケシソウ栽培記

ついにアッケシソウの見ごろの時期になりました。成長の方も大体落ち着き、高さも25cmから28cm前後が大半を占めています。一株の大きさも直径20～30cmと大きく成長してくれました。

ここまで成長してくれるには多くの人達の協力があったからだと思います。アッケシソウ栽培地周辺の草を取ってくれた人がいたり、文化財係の者が作業していると気さくにお声を掛けていただいたりと、大変有り難く思っております。

ところで、最近ではアッケシソウに興味のある来館者が増えています。去る8月25日には「香川の水辺を考える会」のみなさんが当町を訪れました。香川県にもアッケシソウが生育しており、今後の保護・保全活動に役立てようとの目的で今回の視察となったとのことでした。海事記念館で情報交換した後、港町のアッケシソウ栽培地や太田湿原などを観察しました。また海事記念館へ港町にある栽培地の場所を知りたいとの問い合わせも数多く寄せられました。厚岸町の名の付いた唯一の植物「アッケシソウ」。大切に育てていきたいものです。

来年は3面増やし、全部で4面を造成する予定です。アッケシソウが来年も真っ赤に色づくことを期待しています。



9月下旬のアッケシソウ(町内港町)



香川の水辺を考える会のみなさん

厚岸町内には多くの遺跡が存在します。そして昔から多くの研究者によって注目されてきました。そのなかでも、学術的な目的のもと発掘調査がなされた先駆けとしては、医学博士である清野謙次氏による大正15年(1926)の調査が知られています。この際、清野氏は人骨を収集することを目的として尾幌貝塚をはじめ、大別貝塚、オカレンボウシ貝塚など多くの貝塚を発掘し、続縄文から擦文時代と推定される5体の人骨を発掘、収集しました。近年、慶應義塾大学の高山博教授ら研究グループによって、清野氏の行った発掘調査の再確認調査がなされ、遺跡の正確な位置や出土した人骨の調査研究が進められています。



大正15年の貝塚発掘隊
(京都大学総合博物館所蔵)
(最後列写真右が清野謙次氏)

今年もその一環として9月4日から7日にかけて住の江町の奥、JR花咲線沿いにある尾幌貝塚の発掘調査が実施されました。メンバーは慶應義塾大学の高山博教授をはじめ、前釧路市立博物館館長西幸隆氏など約10名によって行われました。また海事記念館に博物館実習として来ていた北海道教育大学釧路校の学生1名も参加しました。



大正15年発掘時の尾幌貝塚
(京都大学総合博物館所蔵)

作業としては、平成16年、17年と継続して実施してきた大正15年に清野謙次氏が発掘した場所を掘り下げるとともに面積を広げることから始まりました。この作業と平行して掘り出した土をふるいにかけて、遺物を取り出しました。その際に、動物や魚の骨など多数採取されました。また掘り下げ作業中には土器(北筒式土器 縄文時代後期)や人骨も発見することができました。今回の発掘によって採取された骨角器や土器、石器、獣骨等は今後、海事記念館や郷土館の展示などに活かしていければと考えています。

このように、厚岸町にある遺跡を通して、明治・大正期と現在をつなぐ研究が現在行われています。



今年の尾幌貝塚発掘風景

博物館実習を終えて

北海道教育大学4年 山下 麻里奈

9月4日から14日まで厚岸町海事記念館で博物館実習をさせていただいた北海道教育大学4年生の山下麻里奈です。ちょうどこの実習期間に発掘調査が行われていたので、私も調査に参加できることになりました。

当然ながら発掘調査は初めてだったので不安がありましたが、実際には土を掘り始めると楽しくて仕方ありませんでした。調査はまず掘る場所を決めるところから始まります。掘る場所を決めたら目印の杭を打ちます。そうしてやっと掘ることができます。しかし、掘るといってもただがむしゃらに掘るというわけではありません。地層を見て考えながら掘ります。調査は4日間と短い間でしたが、普段できないような貴重な体験ができたと思います。

実習の後半では、海事記念館以外に厚岸町郷土館や太田屯田開拓記念館、史跡国泰寺跡などを見学させていただきました。記念館や郷土館にはたくさんの資料が展示してあり、今まで釧路市という厚岸に近いところに住んでいたのに知らないことばかりで正直驚きましたが、とても勉強になりました。

私はこの実習でこんなに近くに素晴らしい文化財があることを知り、誇りに思いましたし、厚岸町の歴史や文化にふれ、厚岸町が大好きになりました。海事記念館での体験は私の宝物です。本当にありがとうございました。

(今後の主な予定) (詳細については海事記念館までお問い合わせ下さい)

[11月17日(金)]

N響プラネタリウムコンサート

開演時間:午後6:30(開場午後5:30) 会場:海事記念館プラネタリウム室
鑑賞券(1,500円)発売所:海事記念館・本の森厚岸情報館

[11月25日(土)]

古文書教室

時間:午前10:00~12:00 海事記念館1階会議室

講師:佐藤宥紹氏(釧路短期大学教授) 定員:30人(締切:11月19日)

編集後記

今年から新たに町内港町でアッケシソウ栽培地をスタートすることになりました。この他にも例年通り郷土館の前や役場駐車場脇などでもアッケシソウを栽培しましたがうまく成長しませんでした。郷土館の受付の方などにも草取りや水をまいてもらったりといろいろ手伝ってもらった

「厚岸町海事記念館通信」第3号 2006.10.発行
【編集・発行】
厚岸町海事記念館
〒088-1128 北海道厚岸郡厚岸町字港町50番地1
Tel/Fax (0153)52-4040

のですが...。「自然のものを育てる」。これほど大変で難しいとはとあらためて思う今日この頃です。

(文責:車塚)